



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	37,893	2.3	2,284	133.5	2,087	122.4	1,531	692.7
2019年3月期第3四半期	37,037	1.3	978	26.5	938	68.2	193	43.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,508百万円 (976.3%) 2019年3月期第3四半期 140百万円 (66.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	32.03	
2019年3月期第3四半期	4.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	31,935	5,702	17.8	118.73
2019年3月期	31,009	4,193	13.4	87.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,675百万円 2019年3月期 4,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年3月期	0.00	0.00	0.00		
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,082	0.7	2,550	108.2	2,330	97.1	1,808	653.2	37.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	48,919,396 株	2019年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,114,343 株	2019年3月期	1,114,173 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	47,805,182 株	2019年3月期3Q	47,805,458 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
部門別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)におけるわが国経済は、海外経済の減速や自然災害等の影響から弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに拡大いたしました。また企業収益が総じて高水準を維持するなか設備投資は増加傾向にあります。一方、個人消費は、消費税率引上げ等の影響があるものの、雇用・所得環境の着実な改善を背景に緩やかに増加しています。

このような状況の中、当社グループは既存事業を基盤とし安定的な収益構造の構築を優先しつつ、新たな事業・サービスを展開しさらなる成長を目指す「中期経営計画(2019年度～2021年度)」に基づき、「エネルギー事業本部」を新設し5事業部門体制とする組織改編を行いました。

売上高につきましては、環境資源開発事業部門が増収となりましたが、一方でエネルギー事業部門は減収となったため、グループ全体の売上高は37,893百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

利益につきましては、環境資源開発事業部門の増収が寄与し、グループ全体の損益は、2,284百万円の営業利益(前年同期比133.5%増)、2,087百万円の経常利益(前年同期比122.4%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,531百万円(前年同期比692.7%増)と大きな伸びとなりましたが、これは前年同期において2018年9月に発生した北海道胆振東部地震災害の復旧費用として特別損失を427百万円計上したことが影響しております。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの見直しを行い、環境資源開発事業部門から新電力事業を分離しエネルギー事業部門を新設しましたので、前年同期比較は新セグメントに組み替えて記載しております。

①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

太陽光市場の縮小幅が徐々に減少する中、新たな販売方法として土地付き太陽光発電システムの販売等を推進したことにより、「太陽光発電システム」が前年同期比4.8%増となりました。この結果、売上高は9,869百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

営業損益は、増収となったことや、HS事業部門への人員の異動等による経費削減及び材料原価の低減が進んだことにより、741百万円の営業利益(前年同期比44.5%増)となりました。

②HS(ホーム・サニテーション)事業部門

HS事業部門は、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。「白蟻防除施工」が前年同期比5.3%増、「床下・天井裏換気システム」が同38.7%増となり、この結果、売上高は8,529百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

営業損益は、増収となったものの、業容拡大を目的とした人員増により人件費等のコストが増加し、1,633百万円の営業利益(前年同期比4.2%減)となりました。

③ES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門

ES事業部門は、異動及び採用により人員増を図り、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比14.5%増となったほか、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比86.1%増となりました。この結果、売上高は1,584百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

営業損益は、増収となったものの、業容拡大を目的とした人員増により人件費等のコストが増加し、155百万円の営業利益(前年同期比20.6%減)となりました。

④環境資源開発事業部門

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが、採算性と品質を重視した受入物件の精査等により「プラスチック燃料」が前年同期比16.0%増となりました。また苫小牧発電所では、前期の第3四半期は地震被害により稼働停止であったことが影響し、「発電所売上」が前年同期比27.7%増となりました。この結果、売上高は12,294百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査のほか、苫小牧発電所の稼働等により、2,317百万円の営業利益(前年同期比208.4%増)となりました。

⑤エネルギー事業部門

高圧契約件数が減少したこと等から小売販売の売上高が減少したほか、卸取引市場の取引価格の低下が影響し、売上高は7,103百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

営業損益は、売上高の減少や、卸販売比率の上昇による利益率の低下等の影響により、10百万円の営業利益(前年同期比96.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は31,935百万円となり、前連結会計年度末比で925百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定（有形固定資産のその他）が711百万円増加したためであります。

負債合計は26,232百万円となり、前連結会計年度末比で582百万円減少しました。主な要因は、長期借入金724百万円、社債が500百万円増加しましたが、短期借入金が1,836百万円減少したためであります。

純資産合計は5,702百万円となり、前連結会計年度末比で1,508百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,531百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末13.4%に対し、当第3四半期連結会計期間末は17.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績を踏まえて、本日2020年2月13日付で下記のとおり修正いたしました。

売上高につきましては、第3四半期連結累計期間の業績を加味したうえでSE事業部門の売上高増加により、前回予想を上回る見込みであります。

利益につきましては、売上高が前回予想を上回ることや、第3四半期連結累計期間の業績が順調に推移したため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見通しであります。

2020年3月期 通期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	50,131	2,248	2,079	1,579	33.04円
今回修正予想 (B)	51,082	2,550	2,330	1,808	37.84円
増減額 (B - A)	950	302	251	229	—
増減率 (%)	1.9	13.5	12.1	14.5	—
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	50,719	1,224	1,182	240	5.02円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,238	5,543
受取手形及び売掛金	6,010	5,167
商品及び製品	1,019	447
未成工事支出金	122	225
原材料及び貯蔵品	3,546	3,889
その他	975	1,296
貸倒引当金	△299	△251
流動資産合計	16,613	16,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,901	1,767
機械装置及び運搬具(純額)	1,355	1,724
土地	7,811	8,053
その他(純額)	989	1,765
有形固定資産合計	12,057	13,311
無形固定資産	262	318
投資その他の資産	2,074	1,986
固定資産合計	14,395	15,616
資産合計	31,009	31,935
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,188	3,660
短期借入金	12,297	10,461
1年内返済予定の長期借入金	143	225
未払金	3,930	3,461
未払法人税等	462	358
賞与引当金	4	126
再資源化費用等引当金	12	13
その他	2,488	2,908
流動負債合計	23,529	21,214
固定負債		
社債	-	500
長期借入金	210	934
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	603	631
退職給付に係る負債	1,642	1,679
その他	819	1,262
固定負債合計	3,285	5,018
負債合計	26,815	26,232

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△8,357	△6,825
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	4,204	5,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	49
為替換算調整勘定	△17	△67
退職給付に係る調整累計額	△85	△42
その他の包括利益累計額合計	△42	△60
非支配株主持分	31	26
純資産合計	4,193	5,702
負債純資産合計	31,009	31,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	37,037	37,893
売上原価	25,839	24,632
売上総利益	11,197	13,260
販売費及び一般管理費	10,219	10,976
営業利益	978	2,284
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	2	2
受取地代家賃	48	47
為替差益	10	-
補助金収入	8	8
受取補償金	70	-
その他	28	34
営業外収益合計	176	105
営業外費用		
支払利息	176	153
支払手数料	18	90
その他	21	57
営業外費用合計	216	302
経常利益	938	2,087
特別損失		
災害による損失	427	-
特別損失合計	427	-
税金等調整前四半期純利益	511	2,087
法人税、住民税及び事業税	322	477
法人税等調整額	△1	83
法人税等合計	320	560
四半期純利益	191	1,526
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	1,531

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	191	1,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△10
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	△38	△50
退職給付に係る調整額	1	42
その他の包括利益合計	△51	△18
四半期包括利益	140	1,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141	1,513
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業 部門	H S 事業 部門	E S 事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,664	8,074	1,385	9,724	8,188	37,037	—	37,037
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	980	—	980	△980	—
計	9,664	8,074	1,385	10,705	8,188	38,017	△980	37,037
セグメント利益	513	1,704	196	751	336	3,502	△2,524	978

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,524百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業 部門	H S 事業 部門	E S 事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,869	8,529	1,584	10,805	7,103	37,893	—	37,893
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,488	—	1,488	△1,488	—
計	9,869	8,529	1,584	12,294	7,103	39,381	△1,488	37,893
セグメント利益	741	1,633	155	2,317	10	4,858	△2,574	2,284

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,574百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施した組織変更に伴い、「環境資源開発事業部門」に含まれていた新電力事業及び2019年4月1日付で新設したエネルギー事業開発部を「エネルギー事業部門」として表示するセグメント区分の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品目	期別	数量 単位	前第3四半期 連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年12月31日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
太陽光発電システム		kW	52,681	9,142	59,185	9,581	6,504	439
太陽光発電システム卸販売		—	—	400	—	186	—	△214
その他		—	—	121	—	101	—	△20
S E 事業部門計		—	—	9,664	—	9,869	—	205
白蟻防除施工		千坪	464	2,623	463	2,762	△1	138
床下・天井裏換気システム		—	—	1,328	—	1,843	—	514
基礎補修・家屋補強工事		軒	4,235	1,600	3,452	1,388	△783	△212
その他		—	—	2,521	—	2,535	—	13
H S 事業部門計		—	—	8,074	—	8,529	—	454
防錆機器取付施工		本	608	667	683	763	75	96
建物給排水補修施工		—	—	326	—	329	—	2
建物防水塗装補修施工		—	—	114	—	213	—	98
その他		—	—	276	—	278	—	1
E S 事業部門計		—	—	1,385	—	1,584	—	199
プラスチック燃料		t	254,985	6,451	219,687	7,484	△35,297	1,032
発電所売上		—	—	1,731	—	2,211	—	480
有機廃液処理		t	79,595	1,413	81,343	1,473	1,747	59
埋立処理		—	—	595	—	722	—	126
その他		—	—	512	—	402	—	△109
環境資源開発事業部門計		—	—	10,705	—	12,294	—	1,589
売電収入		—	—	8,188	—	7,032	—	△1,156
その他		—	—	—	—	71	—	71
エネルギー事業部門計		—	—	8,188	—	7,103	—	△1,084
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△980	—	△1,488	—	△507
売上高計		—	—	37,037	—	37,893	—	855